

## 第6学年「総合」の学力向上のための方策

### 児童の実態（成果と課題の分析）

**成果** ○ すすんで学びに向かおうとする意欲が高い。

**課題** ▼ 調べたことを自分の生活と結び付けて考えることが難しい。

▼ 調べたことを書き写すだけになってしまったり、どこまで調べればよいかなどの見通しをもてなかつたりする。

### 指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 常に自分事として事象を捉え、自分の生活とのつながりを見出す力。
- ◇ 目的意識をもって、調べたりまとめたりする力。

### 具体的な改善策

- 自己の生き方を考えていくための、単元の最終的なゴールイメージをもたせ、常にそこに立ち戻って課題を設定させる。
- 調べたことと自分の生活とのつながりを考えさせ、様々な事象を自分事として捉えさせられるようにする。
- 何のために何を調べているのかを明確にさせる。

### 達成目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
- 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。